

第三十二号議案

債権の放棄について

右の議案を提出する。

令和六年二月十五日

提出者

江戸川区長

斉

藤

猛

債権の放棄について
左記のとおり債権を放棄する。

記

一 債権の概要

(一) 債務者 足立区民

(二) 債権の名称 生活保護費返還金及び徴収金

(三) 債権の総額 三百五十五万七千五百七十七円

二 債権の内訳

(一) 債権ア 債権の額 二万三千八百六十六円

債権発生日 平成二十六年二月十九日

債権発生理由 生活保護法（昭和二十五年法律第四百十四

号）第七十八条

(二) 債権イ 債権の額 三百三万九百二十円

債権発生日 平成二十七年二月二十七日

債権発生理由 生活保護法第七十八条

(三) 債権ウ 債権の額 五十万二千七百九十一円

債権発生日 平成二十七年三月十六日

債権発生理由 生活保護法第六十三条

三 放棄する理由

裁判所が破産法（平成十六年法律第七十五号）第二百五十二条第一項の規定に基づき、令和五年二月八日付けで債務者の免責許可の決定を行ったことにより、債権を回収する見込みがないため。

（説明）

債権を回収する見込みがないため、区の権利を放棄する必要があるので、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第九十六条第一項第十号の規定により、本案を提出いたします。